

ロゴマークについて
 地域のニーズをしっかりと受け止め、それに応える社会福祉法人のすがたを表現しています。全体を囲む円は、課題解決のために大阪府内すべての社会福祉法人が連携する様子を表します。イメージカラーは、ひとりひとりのしあわせを願うピンク色です。



社会福祉法人は地域の真ん中で 安心・安全を支えています。

社会福祉法人は、「社会福祉法」に基づき、
 社会福祉事業を行うことを目的に設立される法人です。
 高齢者、児童、障がい児・者、様々な生活課題を有する方の生活を支えています。
 大阪には社会福祉事業の先駆的実践の歴史があります。
 平成27年度から、オール大阪でさらなる一歩を踏みだします。

本事業についてのお問い合わせは…

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 社会貢献推進室
 〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
 電話 (06) 6762-9488 FAX (06) 6762-9472
 HP : <https://www.osaka-shiwase.jp>



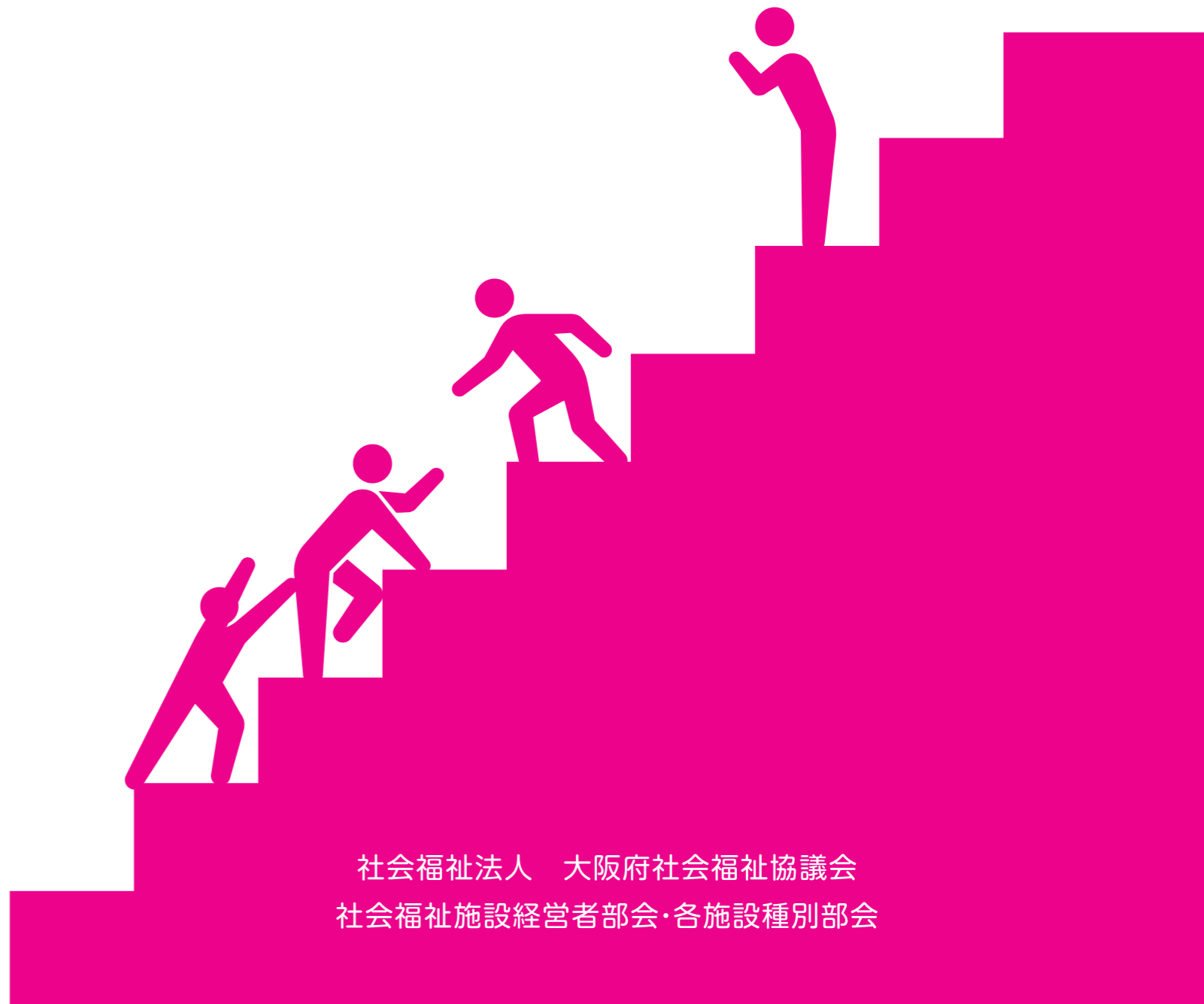
法人名:

施設名:

連絡先:



だいじょうぶ!
 社会福祉法人が
 あります



社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
 社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会

オール大阪って
いうことは
大阪府内のすべてって
ことです。

大阪しあわせネットワーク (オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業) について

事業の趣旨・目的

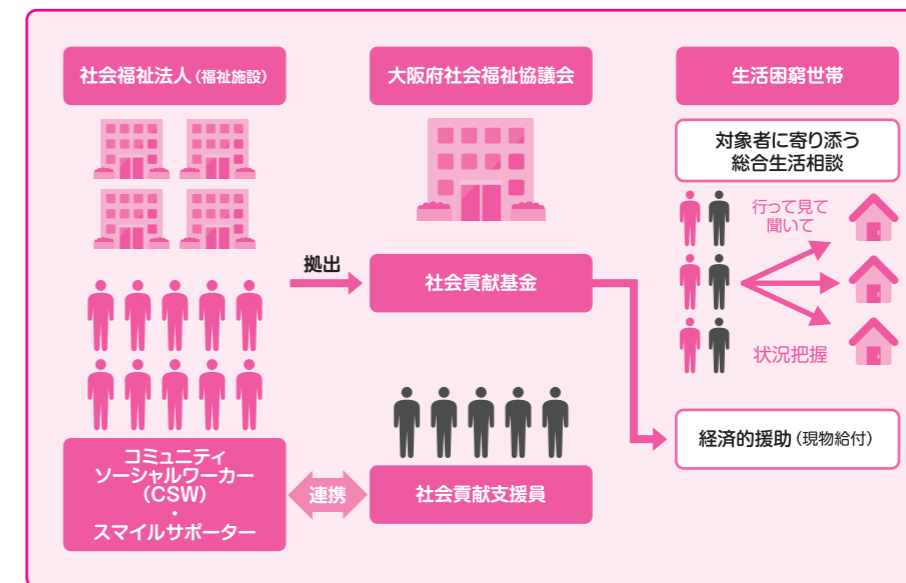
昨今の社会経済情勢の変化等により、孤立や孤独死、ひきこもり、虐待・家庭内暴力、自殺、生活困窮など
厳しい生活・福祉課題が広がっています。

また、こうした課題に対して、既存の制度では対応できない
“制度の狭間” の生活困窮も生じています。

大阪府内すべての社会福祉法人(福祉施設)は、
“社会福祉法人の使命” として、こうした課題に向き合い、
それぞれの特徴や強みを活かした様々な支援事業を
“オール大阪” で展開し、ひとりひとりのしあわせを支えます。

社会福祉法人の強みを活かしたワンストップの何でも総合生活相談 「生活困窮者レスキュー事業」

今日・明日食べるものがない、電気・ガスが止まってしまった…。失業、介護、障がい、虐待やDVなど、様々な“生活SOS” に対応する総合生活相談事業です。各種制度やサービスにつないで生活の安定をはかるとともに、緊急を要する場合は、食材の提供など経済的援助(現物給付)も行います。頼みの綱がここにあります。



支援事例

家族と別れ困窮状態にあった10代の青年に、職業訓練や若者支援の専門機関へ同行相談。時には親代わりとなってこまめに電話や面談で励まし、本人の就労への意欲をサポートし、就労自立につながった。

DVから逃れ、土地勘のない地域での新たな生活を始める母子家庭に対して、市域を越えてスムーズな連携支援を実施。不安に寄り添い、精神的なサポートを継続するとともに、施設や地元企業の協力で得られた洗濯機や冷蔵庫、炊飯器などの物品を支援。

社会福祉法人(福祉施設)の強みを活かした地域貢献事業

社会福祉法人(福祉施設)の機能や強みを活かし、下記のような事業をはじめ、地域のニーズに応えるさまざまな支援事業を開発・展開します。

● **保育園・認定こども園における地域貢献事業(スマイルサポーター)**
保育園・認定こども園の「地域貢献支援員(スマイルサポーター)」が様々な相談に応じ、制度・サービスにつなぎます。

● **就労支援・中間的就労**
障がい等により様々な配慮が必要な方、経験不足等で就職が決まらない方など「働きたいのに働けないすべての人」の就労をサポートします。

● **家計相談支援**
家計のやりくりがうまく出来ない方に、日常のお金の使い方等のアドバイスをします。

● **社会参加・生きがい支援**
ボランティア活動等を通じて社会参加や生きがいづくりを支援します。

● **子どもの学習等支援**
困窮世帯等の子どもたちの学びの機会や安心できる場を提供します。

● **居場所づくり**
地域の中で気軽に立ち寄れる安心できる居場所を担います。

社会貢献基金(特別部会費)の拠出

社会福祉法人(福祉施設)が「社会貢献基金(特別部会費)」を拠出し、上記事業の推進に活用します。